



1. 金商人によるストライキ

① 金商人によるストライキの継続 (9月30日ジャハーネ・エムルーズ紙)

9月25日に開始したバーザールの金商人によるストライキは、依然継続している。政府が付加価値税に関する情報提供を開始してから1年以上が経過したが、これらの商人は、付加価値税に関する情報不足をストライキの理由としている。付加価値税の計算自体は簡単であるが、計算のためには商売に関する透明で明確な情報が必要であり、金商人は、金の購買価格と売却額を申告しなければならない。付加価値税の税率は3%で大きな金額ではなく、金商人が支払うことは困難ではないが、彼らのビジネスにおいて透明性を向上させることは困難である。

② テヘラン、シーラーズにおける金商人のストライキ (30日付 Shahmnews)

本日もテヘランの金販売店は閉店となった。税当局関係者は、税金の支払い拒否のために、ストライキを行うことは新たな習慣になったと述べている。税当局と金販売組合の代表との会談が行われ、あらゆる論点が議論された。税当局関係者は、法律に不明確な点はなく、何人も税金を免除されることはないと述べた。

シーラーズでも、先週の水曜日以降、金販売店のストライキが行われている。シーラーズ金販売組合代表は、ストライキの理由は付加価値税に反対するためであると述べた。

2. イランにおける経済的騒擾への対策 (10月6日および7日付現地各紙報道の概要)

① アフマディーネジャード大統領の発言 (5日、ゴレスターン州での演説。6日付イラン紙など)

最近、誤った情報や憶測、考えに基づく発言によって、人々を心配させたり、関係のない事項をつなぎ合わせるものがある。彼らは外国為替市場に混乱を発生させ、100 トマーン (注：現在、1ドル=約1000 トマーン) 高くして、輸出入市場を困難に直面させている。政府は情勢をコントロールしている。仮に外貨需要が50倍になったとしても、数年は国家を良く統治するだけの外貨準備を有している。

② 付加価値税施行反対デモへの対処 (7日付テヘラン・タイムズ紙)

(1) 最近、金および鉄鋼取引業者は付加価値税の導入に反対して、ストライキを継続していた。同業者は、法律は曖昧であり、付加価値税の導入により自らの商売にどのような影

響があるかについて、正確な情報が提供されていないとした。

(2) アフマディー・モガッダム治安維持軍司令官の発言（10月5日）

補助金改革の実施が開始された後に、扇動者たちは市場を閉鎖し、ストライキを決行するかもしれないが、警察は政府を守護するとともに、敵による経済的圧力を補足しようとする者に対し厳格に対処する。

(3) テヘラン州検察庁のドウラターバーディー長官による発言（10月6日）

司法権は、国家の経済状況に無関心な者や、物資を買い占めたり市場を閉鎖することにより公共の秩序を乱そうとする者に対処する。